

請 願 文 書 表

<p>請願第6号 2018年度国民健康保険税の負担軽減を求める請願 (平成30年2月19日受理)</p>	<p>厚生委員会付託</p>
<p>請 願 者 八王子市追分町6-14 フォーラムはちおうじ303号室 共同事務所内 八王子社会保障推進協議会 上原 弘夫 外1,916名</p>	
<p>紹介議員 佐藤 梓 市川克宏 青柳 有希子 陣内 泰子</p>	
<p>請願趣旨</p> <p>2018年度から始まる国民健康保険の都道府県単位化によって、国は市区町村の法定外繰り入れ解消を迫っています。東京都による試算（「30年度仮係数に基づく一人当たり保険料」算定結果。11月21日東京都国民健康保険運営協議会）は、市町村の法定外繰り入れをしない前提になっており、八王子市の加入者一人当たり国保税額は13万9,068円となり、法定外繰り入れをした場合より約1.4倍にもなります。八王子市は、国民健康保険運営協議会で都の方針に従う姿勢を示しました。</p> <p>八王子市は、2014年度に11.2%、2016年度に9.5%の国保税引き上げを行っており、被保険者の負担は限界にきています。八王子市の国保加入者のうち65歳以上の被保険者が約4割を占め、圧倒的多数が低所得者です。一定の低所得者対策はされているものの、物価値上げ、医療費窓口負担の引き上げで負担が増える一方、年金の引き下げ、マイナス金利などで収入は減り、生活苦が増えています。</p> <p>また、国民健康保険は、均等割という子どもを含む世帯員すべてが保険税（料）の対象となり、子どもの分にも税負担を求める点は、他の健康保険にはない不公平な制度で、子育て支援にも逆行します。</p> <p>私たちは、八王子市が、市民生活を守る自治体としての役割を果たし、国保税の値上げをせず、国保加入者の負担を軽減するために次のとおり請願します。</p> <p>請願事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度国保税を値上げしないこと。 2. 加入者の負担軽減のために必要な一般会計からの繰り入れを継続・拡充すること。 3. 政府と東京都に対し、国庫負担金・都補助金の拡充を求めること。 4. 子どもにかかる均等割を軽減する仕組みをつくること。 	